



2020年10月30日

商 工 中 金

地域金融機関等と協調し、多様な容器の搬送・洗浄等機械を設計製造する 株式会社森下機械製作所様を金融面からサポート

商工中金は、厳しい経営環境の中でも、業績の改善に取り組む中小企業の皆さまを、地域金融機関や他の関係機関等と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（横浜支店）は、株式会社森下機械製作所様（本社：神奈川県横浜市、代表者：森下 陽介様）に対し、仙台銀行、日本政策金融公庫と協調して、既存債務のリストラクチャリングや原材料等の仕入れに必要な資金2億5,000万円を融資しました（仙台銀行、日本政策金融公庫各5,000万円、商工中金1億5,000万円）。なお、商工中金は融資金額の内5,000万円について、期間10年期限一括償還型の資本性劣後ローンを適用し、同社の財務体質強化にも寄与しています。

同社は、製造工程における多種多様な容器の搬送機械（コンベアー等）や洗浄機械の製造業者です。設計から開発、製造、据付までを一貫対応し、特殊仕様品についても短納期対応できる高い技術力を強みにしています。これまで、積極的に大口受注を獲得する等、業務拡大を図ってきましたが、東日本大震災により主力である仙台工場が痛手を受ける等、経営を圧迫。その後、中小企業支援ファンドの後押しを受け、業績の改善に努めてきました。

今回、同社は、支援ファンドの存続期間満了を見据え、同債権をリファイナンスし、安定的な金融取引体制の構築を計画しました。

商工中金は、同社の課題や技術水準を販売先や外部機関へのヒアリングを通じた事業性評価により確認。同社事業計画のブラッシュアップを伴走してサポートするとともに、同計画を取引金融機関と共有しました。また、商工中金の全国ネットワークを活かし、主力工場に近い仙台銀行を新たに招聘するとともに、資本増強効果のある資本性劣後ローンを提供し、財務基盤の安定と金融体制強化に貢献しています。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【株式会社森下機械製作所様の概要】

所在地	神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-12-20
代表者	森下 陽介様
資本金	2,500万円
従業員数	27名（2020年9月現在）
業種	壇詰、缶詰プラント用各種自動機の製作及び設置業



【同社が製造するロボットリンサー（洗浄機）】